

ChattyInfty3 Ver3.23d(新機能)

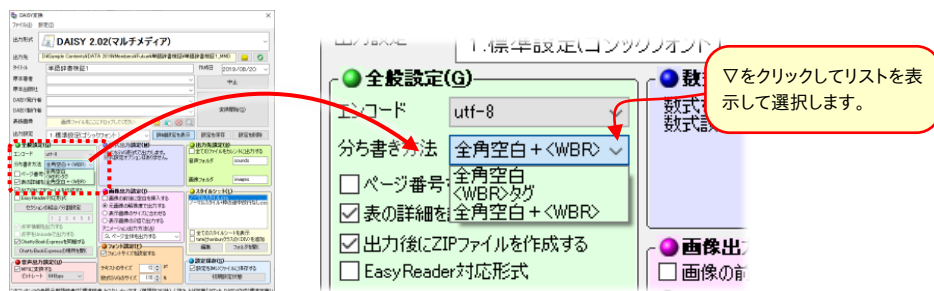
2019/08/26

1. 新しい分ち書きの出力

DAISY 出力の「分ち書き」の表現方法が新しくなりました。

従来の方(`全角空白`)の他に、`<wbr>`(ワードブレイク)タグを使った方式での出力が可能です。

本来の`<wbr>`タグの機能は、ブラウザの画面上での折返し(改行)位置を任意に設定し、単語の途中などで折り返してしまうことを防ぐ目的で利用されますが、ChattyInfty や ChattyBooks では「分ち書き」を表現するためにも利用します。



分ち書きの方法は下記の3種類です。

| | |
|------------------------------------|--|
| 全角空白 | <p><code>全角空白</code>として出力する従来の方です。 ChattyBooks などに表示した場合、折り返した行頭に空白が空いてしまう場合があります。</p> <p>【例】 <code><p>サンプル_です。</p></code></p> |
| <code><wbr></code> タグ | <p><code><wbr></code>を使った新しい方法です。 ChattyBooks では<code><wbr></code>の前に自動的に全角空白と同等の余白を挿入して「分ち書き」として表示することが出来ます。 ただし、AMIS や VOD では分ち書きの空白は挿入されることはありません。</p> <p>【例】 <code><p>サンプル<wbr/>です。</p></code></p> |
| 全角空白 + <code><wbr></code> タグ | <p>上記の方法に加えて、<code><wbr></code>の前に全角空白を挿入します。 AMIS や VOD 等でも分ち書きの空白を表示することが出来ます。 ※ChattyBooks のような分ち書き ON/OFF は出来ません。</p> <p>【例】 <code><p>サンプル_<wbr/>です。</p></code></p> |

※ 2番目の「`<wbr>`タグ」が初期値です。

※ 1番目の``タグは実際には``となります。

【重要】

新しい方法(wbr)で出力した DAISY コンテンツに対応した ChattyBooks は Ver2.03b 以降、また ChattyBookExpress は Ver1.08b 以降です。

2. ルビの仕様変更

最新版では、DAISY 出力でのルビのフォーマットが変更になりました。

※ChattyInfty3 側での編集操作は従来のままです。

■従来のルビ

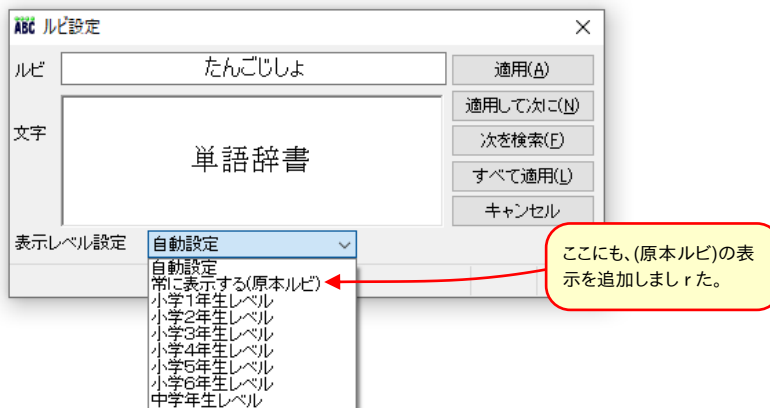
```
<ruby class="ruby_level_2">
  <rb>三年間</rb>
  <rt>さんねんかん</rt>
</ruby>
```

■新方式のルビ

```
<ruby class="ruby_level_2">
  三年間
  <rp></rp>
  <rt>さんねんかん</rt>
  <rp></rp>
</ruby>
```

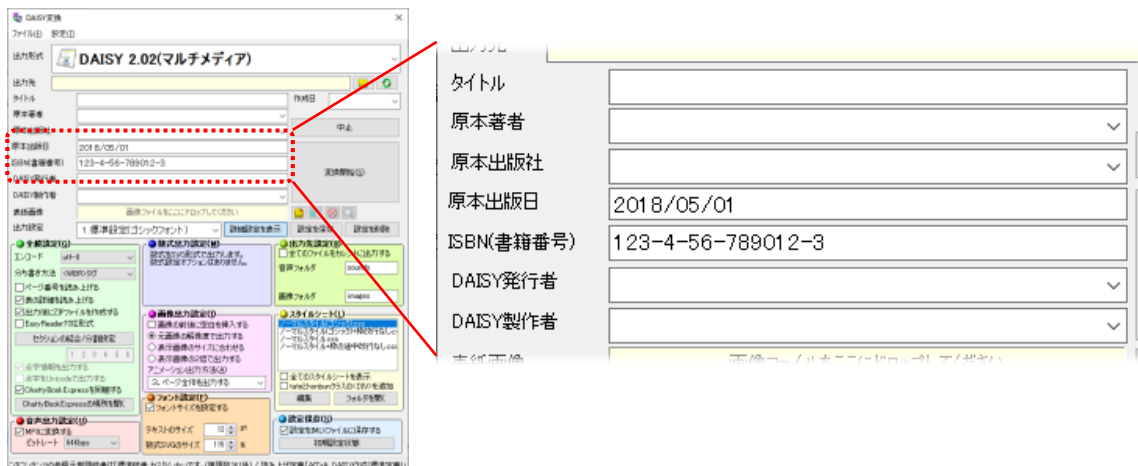
- ・<rb>タグを廃止しました。(HTML5推奨の仕様です)
- ・<rp>タグを追加しました。(rpタグはルビが利用できないブラウザでルビの前後に括弧類を表示するためのタグです。)

また、漢字のレベル指定で、常に表示を選択した場合に、<ruby>タグのクラスをruby_level_0と出力していましたがoriginalに変更しました。



3. DAISY 出力の項目追加(原本出版日・ISBN)






DAISY 出力の画面に原本出版日と ISBN(国際標準図書番号)を追加しました。



※「原本出版日」は「ISBN」は任意の入力項目です。 必要に応じて設定してください。

※「原本出版日」は「作成日」と異なり、カレンダー形式の入力ではなく直接日付を入力してください。

4. その他の不具合対応と仕様変更

- (1). 編集画面の拡大縮小表示を変更すると、レイヤー領域が正しく表示されない不具合を修正しました。
- (2). インデックス(目次)と編集領域の両方のツールバーに「セクション分割」ボタンが配置されていたので、編集領域のボタンを削除しました。
- (3). 追加読み込み機能で、現在開いている IMLX と追加する IMLX に同じ単語で別のアクセント登録された単語等辞書がある場合は、後者の単語を優先するように変更しました。
- (4). 範囲指定してハイライト結合「」(Ctrl+Shift+)すると、範囲指定した領域が削除されてしまう現象に対応しました。(範囲指定された領域の先頭に「」が挿入されます。
- (5). 読点「、」やスペースの前後でハイライト結合が有効にならない(ハイライト分割されてしまう)不具合に対応しました。